

科目番号	21002	分類	基礎分野	履修者	東が丘・立川看護学部	学年	1	
科目名	倫理学 (Ethics)					1		
						配当セメスター		
担当者	山本 伸裕			区 分	単 位	1	時間 数	15
				選択				
授業の概要および目標								
<p>【概要】 倫理学とは、何がよいことで何が悪いことかの判断がどのような基準や根拠に基づいているのかを明らかにしようとする学問である。倫理学の定義と主たる方法論の学習を踏まえ、現代社会における倫理的問題について、その問いに答える視座を身につける。</p> <p>【目標】 日本語の語彙や表現のなかに見られる思想を主な素材として、日本人にとって、いのちや他者、自己の生き方がどのように捉えられてきたかを考える。医療者として、生活者として、日本人の倫理観のベースとなる哲学的な思考、ものの見方を、日本語に込められた深い思想をとおして身近に感じられるようにする。</p>								
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第一回	〈「あらい」の倫理学〉 頑張らない生き方 適当、いい加減、良いあんばいに生きる。							
第二回	〈「かなしみ」の倫理学〉 はかなさや悲哀を感じとることから、すべての倫理は始まる。							
第三回	〈「やさしさ」の倫理学〉 やさしくなければ生きる価値がない。我慢しない、たおやかでしなやかな生き方。							
第四回	〈「おどろき」の倫理学〉 「もの」から「こと」へ。夢から目覚めて生きることが大切だ。							
第五回	〈別れ言葉の倫理学〉 「さようなら」はなぜ別れの言葉なのか。「さらば」と言える人生を送る。							
第六回	〈「よろこび」の倫理学〉 悲しみと喜びは表裏一体。はかない人生を楽しむことのできる知恵。							
第七回	〈「とむらい」の倫理学〉 死にゆく他者、目の前の他者にどう向き合うか。かなしみの向こう側へ。							
第八回	〈謝罪の倫理学〉 私たちは「すまない世界」に済んでいる。さまざまな謝罪の言葉（表現）の背後に眼差されているもの。							
事前・事後学習	下記の参考図書等に、随時、目を通しておくのが望ましい。							
評価の方法	レポート80%、平常点20% ※授業態度などに応じて試験を実施することもある。							
参考図書・資料等	山本伸裕『日本人のものの見方～〈やまと言葉〉から考える』、青灯社、2015年 竹内整一著『かなしみの哲学』、NHK出版、2009年 荒木博之著『やまとことばの人類学』、朝日選書、1985年など							
備 考	オフィスアワーについては、履修案内を参照し、教員と日程調整する。							

